

令和3年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	大阪府		市町村類型	政令指定都市	指定団体等の指定状況		区分		令和3年度(千円)	令和2年度(千円)	区分		令和3年度(千円・%)	令和2年度(千円・%)
					財政健全化等	×	歳入総額	469,487,091			509,918,193	実質収支比率		
市町村名	堺市		地方交付税種地	1-7	財源超過	×	歳出総額	461,227,663	507,566,565	経常収支比率	93.7	100.8	(106.0)	(111.4)
					首都	×	歳入歳出差引	8,259,428	2,351,628	(※1)				
					近畿	○	翌年度に繰越すべき財源	967,248	921,792	標準財政規模	236,014,076	224,924,396		
							実質収支	7,292,180	1,429,836	財政力指数	0.79	0.81		
人口	令和2年国調(人)	826,161	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	5,862,344	-10,495	公債費負担比率	13.9	15.0		
	平成27年国調(人)	839,310			過疎	×	積立金	10,241,007	6,064,285	健全化判断比率				
	増減率(%)	-1.6			山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-		
住民基本台帳人口(※7)	令和04.01.01(人)	826,158	第1次	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金取崩し額	2,633,520	0	連結実質赤字比率	-	-
	うち日本人(人)	811,187			1,636	1,738	指数表選定	○	実質単年度収支	13,469,831	6,053,790	実質公債費比率	6.1	5.8
	令和03.01.01(人)	831,481	第2次		0.5	0.5			基準財政収入額	131,657,516	136,809,228	資金不足比率(※4)		
	うち日本人(人)	816,090			77,304	82,811			基準財政需要額	174,085,145	169,411,859			
	増減率(%)	-0.6	第3次		23.2	24.4			標準税収入額等	164,817,281	171,549,576			
	うち日本人(%)	-0.6			253,723	255,315			経常経費充当一般財源等	232,573,226	228,490,844			
	面積(km ²)	149.83			76.3	75.1			歳入一般財源等	284,671,569	257,204,473			
人口密度(人/km ²)	5,514													
世帯数(世帯)	366,079													
職員の状況														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	481,398,264	474,549,598			
	市区町村長	1	8,330		一般職員	5,008	15,735,136	3,142	うち公的資金	56,042,141	58,021,229			
	副市区町村長	3	8,415		うち消防職員	999	3,041,955	3,045	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	235,523,090	244,685,948			
	教育長	1	7,375		うち技能労務職員	50	158,650	3,173	債務負担行為額(支出予定額)	66,332,745	77,107,185			
	議会議長	1	9,025		教育公務員	3,986	13,426,849	3,369	収益事業収入	2,084,611	1,753,461			
	議会副議長	1	8,075		臨時職員	534	1,503,210	2,815	土地開発基金現在高	-	-			
	議会議員	46	7,410		合計	9,528	30,665,195	3,218	積立金現在高	16,171,849	8,564,362			
					ラスパイレシ指数			100.2	減債基金	9,664,618	990,497			
									その他特定目的基金	39,637,694	33,841,790			
	一般会計等の一覧													
項番	会計名	事業会計の一覧			公営企業(法適)の一覧			公営企業(法非適)の一覧			関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧	
(1) 一般会計		(5) 国民健康保険事業特別会計	(8) 堺市水道事業会計	(10) 大阪府都市競艇企業団	(16) (公財) 堺市文化振興財団									
(2) 公共用地先行取得事業特別会計		(6) 介護保険事業特別会計	(9) 堺市下水道事業会計	(11) 後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(17) (公財) 堺市救急医療事業団									
(3) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計		(7) 後期高齢者医療事業特別会計		(12) 後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(18) (株) さかい新事業創造センター									
(4) 公債管理特別会計				(13) 大阪広域水道企業団(水道事業会計)	(19) (公財) 堺市産業振興センター									
				(14) 大阪広域水道企業団(工業用水道事業会計)	(20) (公財) 堺市公園協会									
				(15) 関西広域連合	(21) (公財) 堺市教育スポーツ振興事業団									
					(22) (公財) 堺市勤労者福祉サービスセンター									
					(23) (地独) 堺市立病院機構									

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、令和3年地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	經常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	151,638,686	32.3	140,806,215	64.2	普通税	135,573,651	89.4	1,674,540	
地方譲与税	2,097,707	0.4	2,097,707	1.0	法定普通税	135,573,651	89.4	1,674,540	
利子割交付金	130,784	0.0	130,784	0.1	市町村民税	69,362,130	45.7	1,674,540	
配当割交付金	1,033,288	0.2	1,033,288	0.5	個人均等割	1,350,786	0.9		
株式等譲渡所得割交付金	1,160,951	0.2	1,160,951	0.5	所得割	59,123,300	39.0		
分離課税所得割交付金	162,187	0.0	162,187	0.1	法人均等割	2,352,007	1.6		
地方消費税交付金	18,524,781	3.9	18,524,781	8.4	法人税割	6,536,037	4.3	1,674,540	
ゴルフ場利用税交付金	137,226	0.0	137,226	0.1	固定資産税	59,092,389	39.0		
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	58,196,964	38.4		
自動車取得税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	1,356,775	0.9		
軽油引取税交付金	5,959,480	1.3	5,959,480	2.7	市町村たばこ税	5,762,357	3.8		
自動車税環境性能割交付金	491,329	0.1	491,329	0.2	釧産税	-	-		
法人事業税交付金	1,605,322	0.3	1,605,322	0.7	特別土地保有税	-	-		
地方特例交付金等	2,325,663	0.5	2,325,663	1.1	法定外普通税	-	-		
個人住民税減収補填特例交付金	916,938	0.2	916,938	0.4	目的税	16,065,035	10.6		
自動車税減収補填特例交付金	145,092	0.0	145,092	0.1	法定目的税	16,065,035	10.6		
軽自動車税減収補填特例交付金	30,675	0.0	30,675	0.0	入湯税	272	0.0		
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	1,232,958	0.3	-	-	事業所税	5,232,292	3.5		
地方交付税	43,389,355	9.2	42,427,629	19.3	都市計画税	10,832,471	7.1		
普通交付税	42,427,629	9.0	42,427,629	19.3	水利地益税等	-	-		
特別交付税	961,652	0.2	-	-	法定外目的税	-	-		
震災復興特別交付税	74	0.0	-	-	旧法による税	-	-		
(一般財源計)	228,656,759	48.7	216,862,562	98.9	合計	151,638,686	100.0	1,674,540	
交通安全対策特別交付金	271,499	0.1	271,499	0.1					
分担金・負担金	3,202,918	0.7	15,106	0.0					
使用料	3,604,927	0.8	1,312,404	0.6					
手数料	1,948,109	0.4	2,969	0.0					
国庫支出金	141,939,766	30.2	-	-					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	9,618	0.0	9,618	0.0					
都道府県支出金	25,824,608	5.5	-	-					
財産収入	7,537,187	1.6	466,039	0.2					
寄附金	305,909	0.1	-	-					
繰入金	3,552,740	0.8	-	-					
繰越金	2,351,626	0.5	-	-					
諸収入	7,298,925	1.6	586,110	0.3					
地方債	42,982,500	9.2	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち猶予特例債	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	28,769,000	6.1	-	-					
歳入合計	469,487,091	100.0	219,379,678	100.0					

歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	1,175,650	0.3	-	1,175,650	
総務費	42,940,977	9.3	1,721,859	38,718,309	
民生費	211,528,953	45.9	1,275,799	86,830,000	
衛生費	39,002,951	8.5	1,915,856	23,135,871	
労働費	632,227	0.1	308,107	503,177	
農林水産業費	821,000	0.2	25,595	741,877	
商工費	3,096,039	0.7	120,839	2,200,439	
土木費	44,526,534	9.7	18,194,684	26,801,403	
消防費	12,310,071	2.7	2,551,067	8,558,132	
教育費	65,330,261	14.2	6,298,446	48,362,214	
災害復旧費	14,620	0.0	-	5,460	
公債費	39,832,863	8.6	-	39,699,939	
諸支出金	15,517	0.0	-	15,517	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	461,227,663	100.0	32,412,252	276,747,853	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	經常経費充当一般財源等	經常収支比率
義務的経費計	285,057,360	61.8	154,293,314	152,336,134	61.4
人件費	86,141,854	18.7	72,725,961	72,267,043	29.1
うち職員給	60,969,579	13.2	48,247,364	-	-
扶助費	159,222,889	34.5	42,007,660	40,509,398	16.3
公債費	39,692,617	8.6	39,559,693	39,559,693	15.9
元利償還金	39,692,617	8.6	39,559,693	39,559,693	15.9
内訳					
うち元金	36,133,834	7.8	36,000,910	36,000,910	14.5
うち利子	3,558,783	0.8	3,558,783	3,558,783	1.4
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	143,743,431	31.2	115,382,803	80,237,092	32.3
物件費	51,860,346	11.2	36,714,100	32,192,146	13.0
維持補修費	5,515,607	1.2	4,055,871	4,053,682	1.6
補助費等	24,918,045	5.4	21,718,749	16,895,797	6.8
うち一部事務組合負担金	18,748	0.0	18,748	18,748	0.0
繰出金	34,813,042	7.5	27,673,578	27,095,467	10.9
積立金	25,560,260	5.5	25,206,505	-	-
投資・出資金・貸付金	1,076,131	0.2	14,000	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	32,426,872	7.0	7,071,736	-	-
うち人件費	1,106,644	0.2	1,014,397	-	-
普通建設事業費	32,412,252	7.0	7,066,276	-	-
うち補助	15,967,623	3.5	819,391	-	-
うち単独	16,132,810	3.5	6,244,966	-	-
災害復旧事業費	14,620	0.0	5,460	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	461,227,663	100.0	276,747,853	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和3年度 大阪府堺市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	469,670	461,532	8,138	7,171	3,768	539,201	
2 公共用地先行取得事業特別会計	2,701	2,701	0	-	1,257	2,712	
3 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	467	346	121	121	6	2,438	
4 公債管理特別会計	65,985	65,985	-	-	51,768	-	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

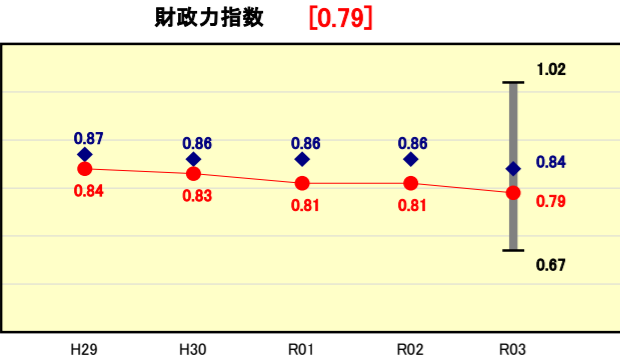
令和3年度 大阪府堺市

人口	826,158人	(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	811,187人	(R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	149.83km ²		実質公債費比率	6.1%
歳入総額	469,487,091千円		将来負担比率	-%
歳出総額	461,227,663千円		市町村類型	H29 政令市 H30 政令市 R01 政令市
実質収支	7,292,180千円		(年度毎)	R02 政令市 R03 政令市
標準財政規模	236,014,076千円			
地方債現在高	481,398,264千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレズ指数」については、各調査対象年度の翌年の地方公務員給与実態調査に基づいているが、令和3年度は令和3年調査の数値を引用している。

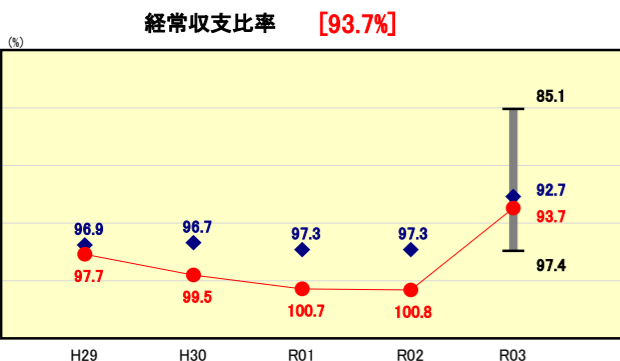
財政力



類似団体内順位 14/20 全国平均 0.50 大阪府平均 0.70

財政力指数の分析欄
社会福祉費の増加などにより基準財政需要額の規模が大きく拡大しているのに対し、基準財政収入額の規模は需要ほど拡大していないため、3年平均で求められる財政力指数は下降傾向となっている。
令和3年度は、国の補正予算による普通交付税の再算定が行われ、基準財政需要額が増加したことにより財政力指数は下降した。
類似団体平均を下回る状況が続いているため、市税の徴収強化等による歳入の確保に努め、指数の改善を図る。

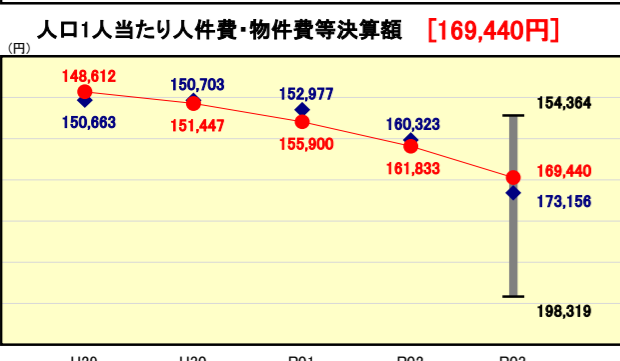
財政構造の弾力性



類似団体内順位 11/20 全国平均 88.9 大阪府平均 89.3

経常収支比率の分析欄
経常収支比率は、扶助費の増加などを要因とし、年々上昇傾向にある。
令和3年度は、扶助費の増加等により分子となる歳出経常一般財源が増加したものの、地方交付税及び臨時財政対策債の増加等により分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、歳入増額が歳出増額を上回ったため、経常収支比率は前年度から7.1ポイント改善し93.7%となった。
令和3年度の主な改善要因は、大部分が地方交付税の制度上の影響によるものであり、あくまでも一時的なものである。経常的な歳入歳出の構造自体に大きな変化は無いため、社会保障関係費の適正化に資する施策の実施に加え、市税の徴収強化等による歳入の確保や、行財政改革を一層推進し、指数の改善を図る。

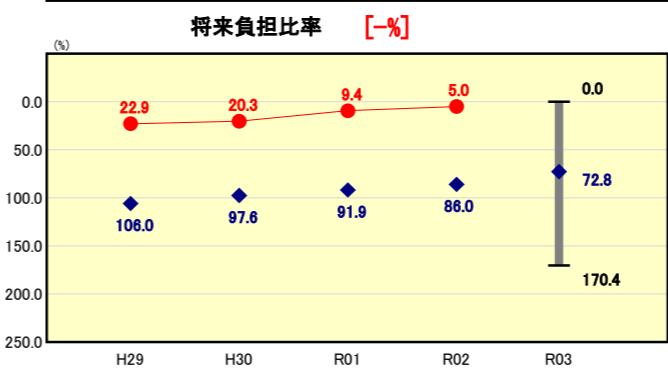
人件費・物件費等の状況



類似団体内順位 8/20 全国平均 155,088 大阪府平均 142,758

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
令和3年度の人件費は、大阪狭山市の消防事務を受託したこと等により増加した。
維持補修費については減少したものの、物件費は、新型コロナウイルスワクチン接種関連経費の増加や、学校教育ICT化推進事業(GIGAスクール構想)の進捗等により増加したことから、全体としては増加した。
令和5年1月に策定した「持続可能な財政運営に向けた取組」に基づき、時間外勤務の縮減に取り組むなど、コストの低減を図る。

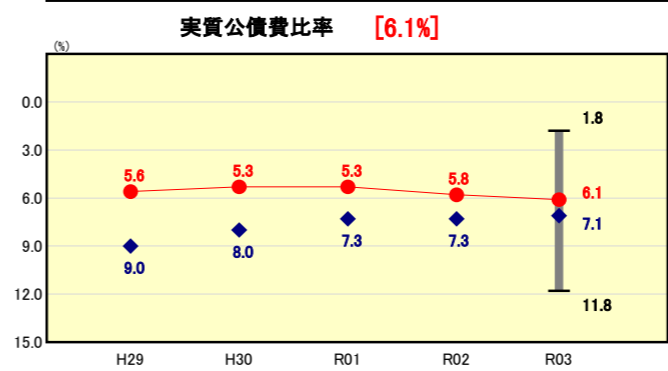
将来負担の状況



類似団体内順位 1/20 全国平均 15.4 大阪府平均 0.0

将来負担比率の分析欄
令和2年度は、企業会計の市債残高の減少や大規模事業の完了による債務負担行為に基づく支出予定額の減少、充当可能基金の増加等により前年度より改善した。
令和3年度は、臨時財政対策債償還基金費として追加交付された地方交付税を減債基金に積み立てたこと、市有地売却による財産収入を公共施設等特別整備基金に積み立てたこと等によって充当可能基金が増加したことなどにより、充当可能財源等が将来負担額を上回ったために算定されなかった。
今後も計画的な財政運営を行い、健全性の維持に努める。

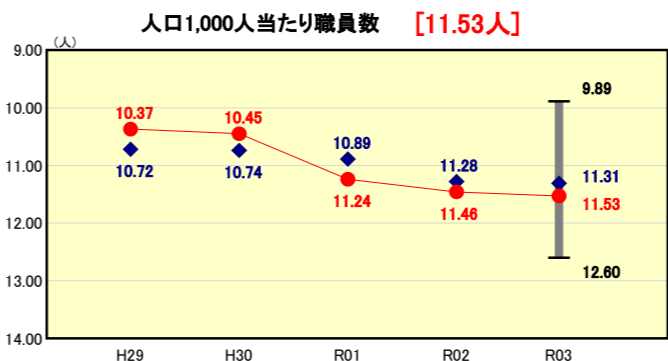
公債費負担の状況



類似団体内順位 8/20 全国平均 5.5 大阪府平均 2.9

実質公債費比率の分析欄
令和3年度は、国の補正予算による普通交付税の再算定が行われたため分母となる標準財政規模が増加したものの、令和3年度から借入金の返済が開始された大規模事業の影響により分子となる元利償還金も増加したことから、3年平均で算定される同比率は、前年度から0.3ポイント上昇の6.1%となった。
類似団体平均を下回っているため、現在の水準維持に努める。

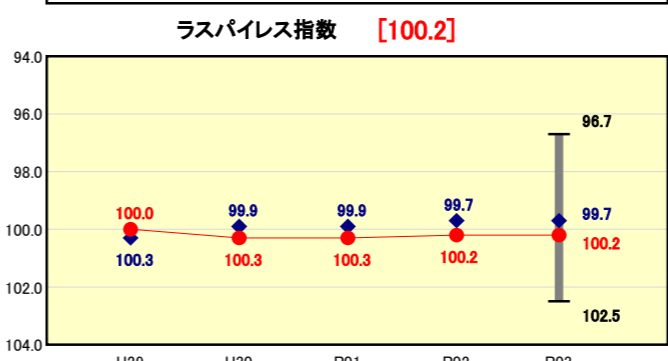
定員管理の状況



類似団体内順位 11/20 全国平均 8.21 大阪府平均 8.52

人口1,000人当たり職員数の分析欄
令和2年度については、児童相談所や生活保護等の社会福祉関係の部門の体制強化に伴う職員数の増加があった。また消防部門において、大阪狭山市より事務の委託を受けたため、管轄地域の拡大に伴う職員数の増加があった。
令和3年度の職員数については、前年度と同様に令和3年度給与実態調査の数値を使用しているため、人口1,000人あたりの職員数の変動は、堺市の人口変動によるもの。
今後の定員管理については、令和5年4月1日施行の法改正に伴う定年引上げ等も踏まえた上で、本市を取り巻く状況を勘案した体制を構築する。

給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 9/20 全国市平均 98.8 全国町村平均 96.3

ラスパイレズ指数の分析欄
令和2年度については、人事委員会勧告による全般的な給料表の改定がなく、55歳超の昇給停止等その他の改正についても国に準じている中、採用と退職に伴い職員構成が変動したことで、前年度から平均給料月額と平均年齢が下がった。
令和3年度のラスパイレズ指数については、前年度と同様に令和3年度給与実態調査の数値を使用しているため、変動なし。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

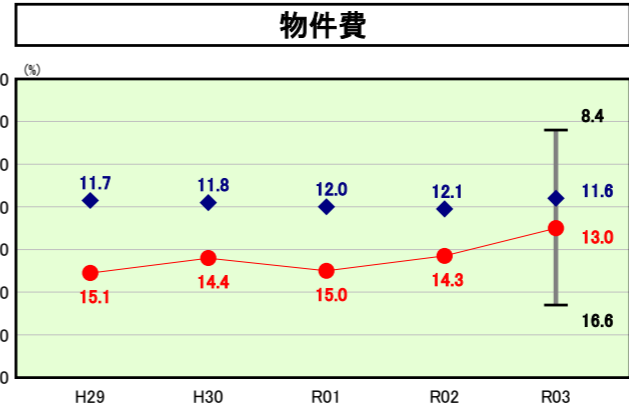
令和3年度

大阪府堺市

経常収支比率の分析

人口	826,158	人(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	811,187	人(R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	149.83	km ²	実質公債費比率	6.1	%
歳入総額	469,487,091	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	461,227,663	千円			
実質収支	7,292,180	千円	市町村類型	H29 政令市 H30 政令市 R01 政令市	
標準財政規模	236,014,076	千円	(年度毎)	R02 政令市 R03 政令市	
地方債現在高	481,398,264	千円			

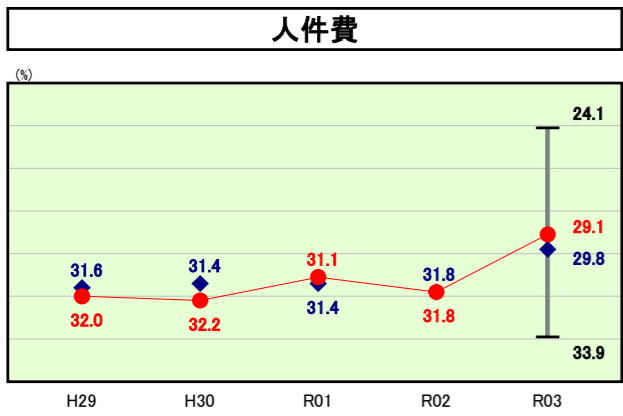
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 14/20 全国平均 13.8 大阪府平均 12.2

物件費の分析欄

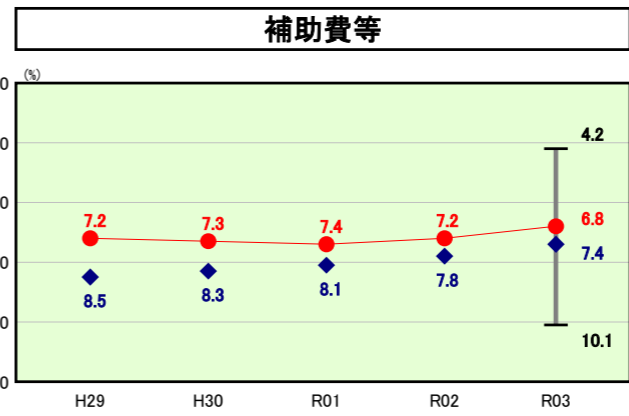
令和2年度は、教育プログラミングタブレット貸借、小学校給食調理業務に係る経費などが増加したものの、会計年度任用職員制度移行に伴う賃金等が減少し、全体として0.7ポイント減の14.3%となった。
 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によるパスポートセンター運営事業に係る経費の減少などに加え、地方交付税及び臨時財政対策債の増加等により分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、1.3ポイント減の13.0%となった。
 ただし、類似団体平均と比べると依然として高い水準で推移しているため、事務事業の見直し等により指数の改善を図る。



類似団体内順位 4/20 全国平均 25.2 大阪府平均 25.3

人件費の分析欄

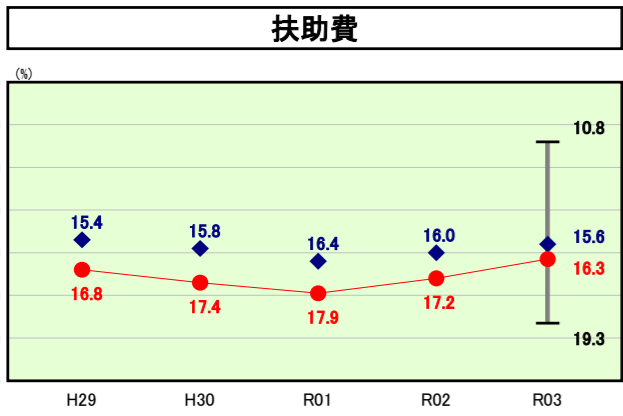
令和2年度は、会計年度任用職員制度移行等の影響により、前年度から0.7ポイント増の31.8%となった。
 令和3年度は、共済組合負担金の増加等により分子となる人件費の歳出経常一般財源が前年度から増加したものの、地方交付税及び臨時財政対策債の増加等により分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、前年度から2.7ポイント減の29.1%となった。



類似団体内順位 11/20 全国平均 10.2 大阪府平均 9.1

補助費等の分析欄

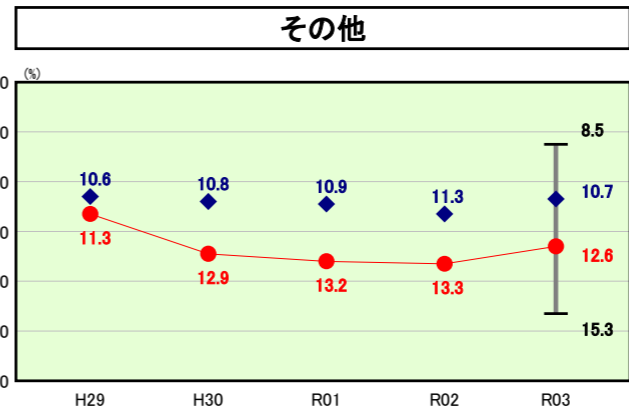
平成29年度から令和2年度まで、ほぼ横ばいで推移している。
 令和3年度は、後期高齢者医療広域連合負担金の増加などにより、補助費等の歳出経常一般財源が前年度から増加したものの、地方交付税及び臨時財政対策債の増加等により分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、0.4ポイント減の6.8%となった。



類似団体内順位 14/20 全国平均 12.0 大阪府平均 16.3

扶助費の分析欄

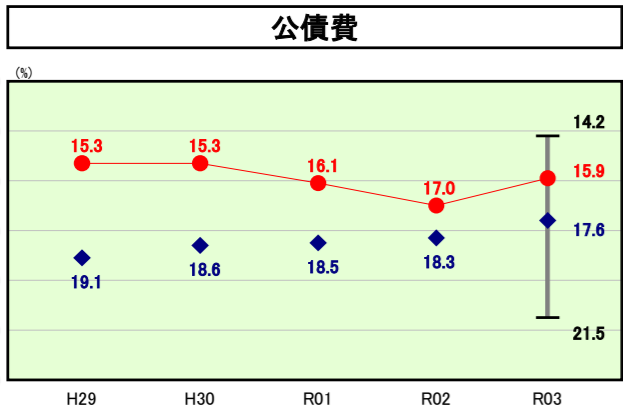
令和元年度は、児童扶養手当の支給回数の見直しに伴い一時的に増加した。
 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えの解消等により子ども医療扶助費が増加したことなどもあり、扶助費の歳出経常一般財源が前年度から増加したものの、地方交付税及び臨時財政対策債の増加等により分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、0.9ポイント減の16.3%となった。
 令和3年度の改善は一時的なものであり、また、依然として類似団体と比較し高い水準であるため、社会保障関係費の適正化に資する施策を実施することで、指数の改善を図る。



類似団体内順位 17/20 全国平均 12.0 大阪府平均 12.1

その他の分析欄

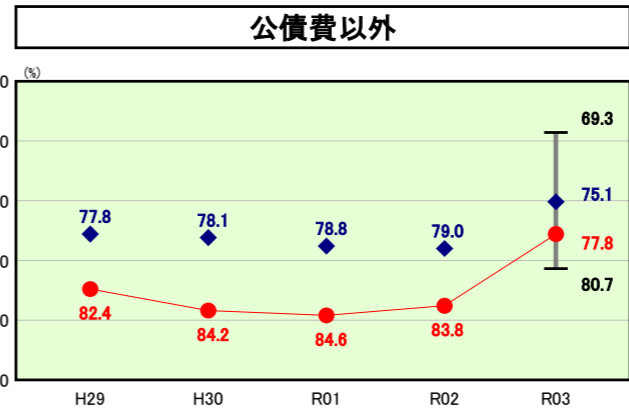
平成30年度は、総務省から示された決算の計上方法の明確化に伴い、普通建設事業費の委託料等を維持補修費へ振り替えたことなどによる影響から、相対的に経常収支比率が1.6ポイント上昇した。
 令和元年度以降、分子となる国民健康保険事業、介護保険事業の各特別会計への繰出金が増加しているが、令和3年度においては、地方交付税及び臨時財政対策債の増加等により分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、0.7ポイント減の12.6%となった。



類似団体内順位 5/20 全国平均 15.7 大阪府平均 14.3

公債費の分析欄

令和2年度は、クリーンセンター東工場の改築、消防行政統合システムの整備、大浜体育館整備に係る市債の償還が開始されたことなどにより、0.9ポイント増の17.0%となった。
 令和3年度は、阪神高速道路大和川線事業や阪神高速道路出資金、市民会館建替え事業に係る市債の償還額が増加したことなどにより公債費の歳出経常一般財源が前年度から増加したものの、地方交付税及び臨時財政対策債の増加等により分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、1.1ポイント減の15.9%となった。



類似団体内順位 16/20 全国平均 73.2 大阪府平均 75.0

公債費以外の分析欄

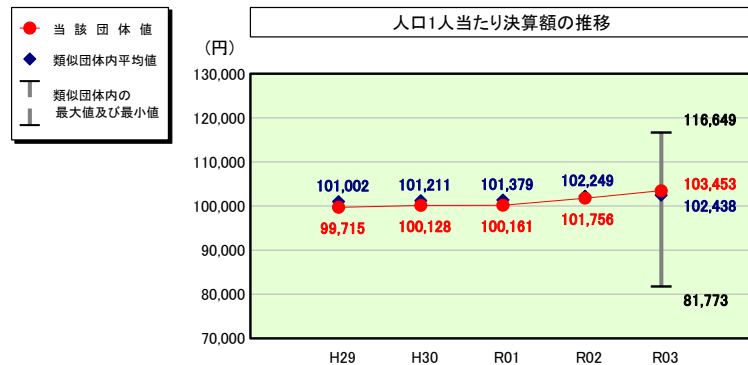
平成30年度は、決算の計上方法を明確化したことに伴い普通建設事業費の委託料等を維持補修費へ振り替えたこと等による影響により、比率が上昇した。
 令和元年度は、定年退職者の減により退職手当が減少したが、堺市民芸術文化ホールの開館や障害者自立支援給付費の増などにより比率が上昇した。
 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等により子ども医療扶助費が減少したことなどにより扶助費の比率が減少し、公債費以外全体としても比率が減少した。
 令和3年度は、扶助費の増加等により分子となる歳出経常一般財源が前年度から増加したものの、地方交付税及び臨時財政対策債の増加等により分母となる歳入経常一般財源が大幅に増加した結果、比率が大幅に改善した。
 類似団体の平均値を上回る状況が続いているため、社会保障関係費の適正化に資する施策の実施に加え、市税の徴収強化等による歳入の確保や、行政改革を一層推進し、指数の改善に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和3年度

大阪府堺市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

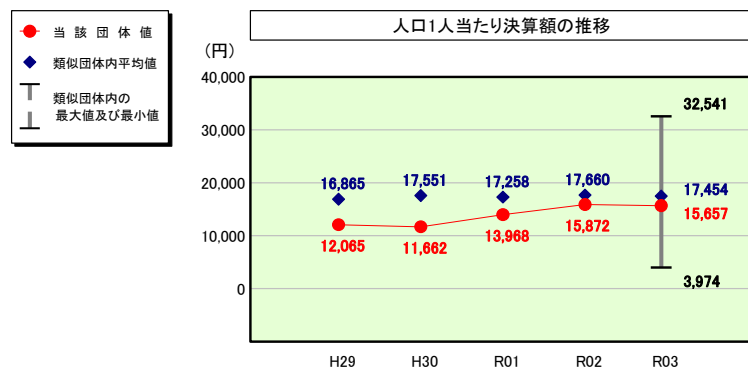
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	86,141,854	104,268	105,428	▲ 1.1
一部事務組合負担金(補助費等)	956	1	108	▲ 99.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	794,249	961	1,092	▲ 12.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	5	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	2,065,348	2,500	1,959	27.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,106,644	1,340	1,267	5.8
▲退職金	▲ 4,640,142	▲ 5,617	▲ 7,422	▲ 24.3
合計	85,468,909	103,453	102,438	1.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	11.53	11.31	0.22
ラスパイレース指数	100.2	99.7	0.5

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

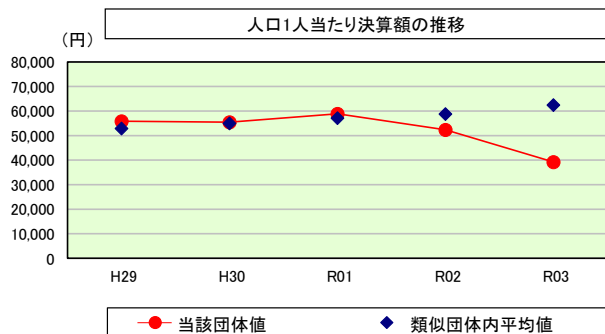


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	33,116,020	40,084	31,345	27.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	2,339	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	7,831,420	9,479	20,945	▲ 54.7
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	5,622,314	6,805	9,788	▲ 30.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	145	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	63,334	77	1,430	▲ 94.6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 9,756,672	▲ 11,810	▲ 16,549	▲ 28.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 23,940,909	▲ 28,979	▲ 31,989	▲ 9.4
合計	12,935,507	15,657	17,454	▲ 10.3

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H29	46,923,183	55,820	12.6	52,897	2.3	10.3
うち単独分	21,445,650	25,512	15.5	27,013	1.3	14.2
H30	46,479,372	55,480	▲ 0.6	54,945	3.9	▲ 4.5
うち単独分	21,440,281	25,592	0.3	29,293	8.4	▲ 8.1
R01	49,148,343	58,875	6.1	57,132	4.0	2.1
うち単独分	21,690,610	25,983	1.5	30,126	2.8	▲ 1.3
R02	43,536,832	52,361	▲ 11.1	58,766	2.9	▲ 14.0
うち単独分	18,811,132	22,624	▲ 12.9	29,363	▲ 2.5	▲ 10.4
R03	32,412,252	39,233	▲ 25.1	62,482	6.3	▲ 31.4
うち単独分	16,132,810	19,528	▲ 13.7	34,626	17.9	▲ 31.6
過去5年間平均	43,699,996	52,354	▲ 3.6	57,244	3.9	▲ 7.5
うち単独分	19,904,097	23,848	▲ 1.9	30,084	5.6	▲ 7.5

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

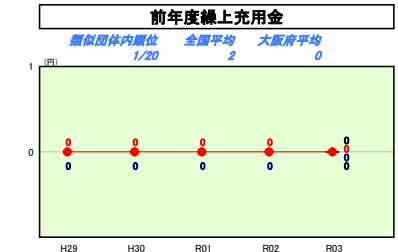
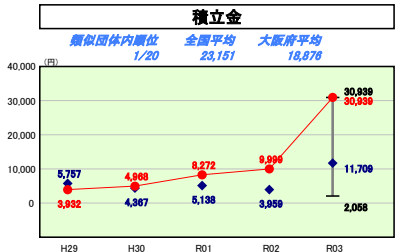
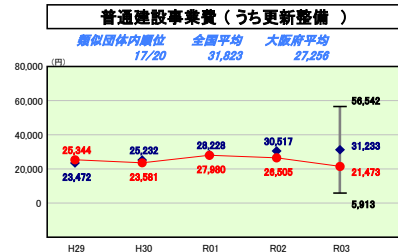
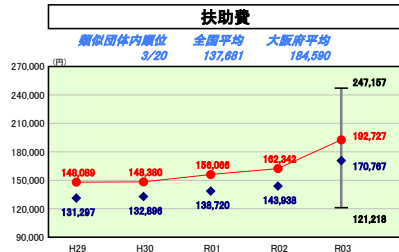
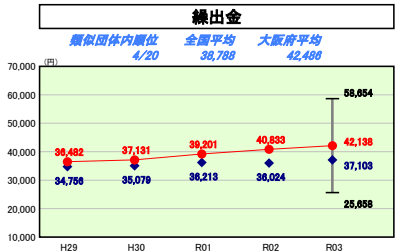
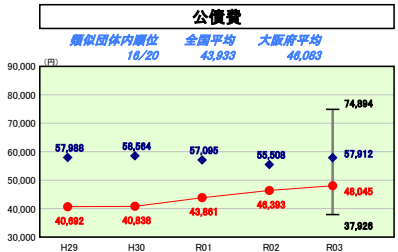
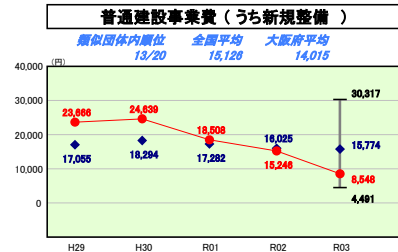
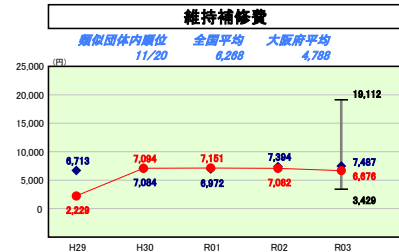
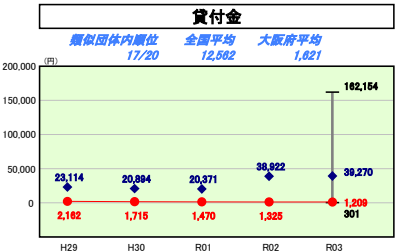
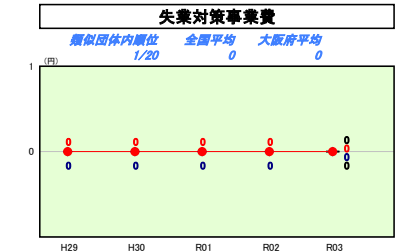
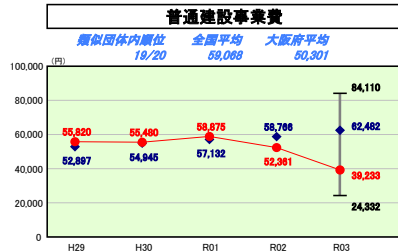
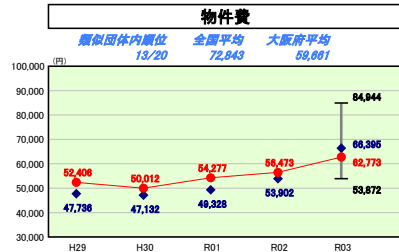
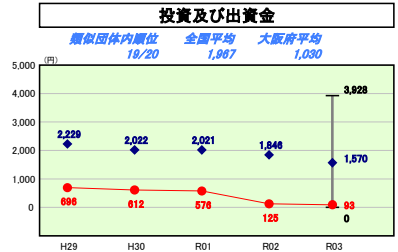
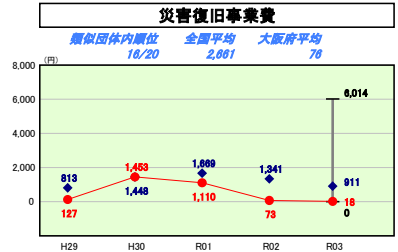
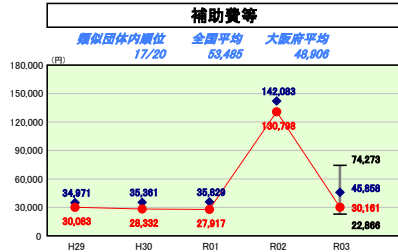
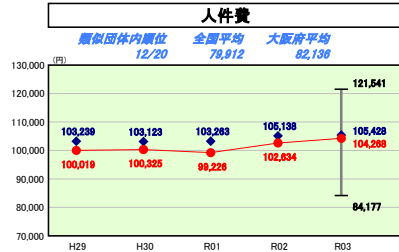
令和3年度

大阪府堺市

人口	828,158人(※4.1.1現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	811,187人(※4.1.1現在)	通給実収赤字比率	-%
世帯	149,833世帯	実収公債費比率	6.1%
歳入総額	469,487,091千円	将来負担比率	-%
歳出総額	461,227,663千円	市町村類型	H29 政令市 H30 政令市 R01 政令市
実収収支	7,262,180千円	(年度毎)	R02 政令市 R03 政令市
標準財政規模	236,014,076千円		
地方債現在高	481,398,264千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

○人件費は、類似団体平均と比較すると低位で推移しているものの、令和2年度は、会計年度任用職員制度移行等の影響により増加し、令和3年度は、大阪狭山市の消防事務を受託したこと等により増加した。
 ○物件費は、類似団体平均と比較すると令和2年度まで高位で推移していた。令和3年度は、新型コロナウイルスワクチン接種関連経費の増加等により前年度から増加したものの、全国的な傾向として新型コロナウイルス感染症対策に係る事業の委託費の増加等により物件費が大幅に増加したことから、類似団体平均を下回ったものと考えられる。
 ○扶助費は、生活保護率が類似団体と比較して高いこともあり、高位で推移している。令和3年度は、子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の支給に加え、障害者自立支援給付費等の増加により、大幅に増加した。
 ○普通建設事業費は、令和3年度は大浜体育館建替整備運営事業の建設工事や堺東駅南地区市街地再開発事業の完了等により大幅に減少した。
 ○積立金は、令和3年度は令和4年度以降還付が必要となる国費・府費の収入超過分や地方交付税等の上入れ分等を財政調整基金に積み立てたことと、令和3年度に限り臨時財政対策債償還基金費として追加交付された地方交付税を減償基金に積み立てたことと、市有地売却による財産収入を公共施設等特別整備基金に積み立てたこと等により、大幅に増加した。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

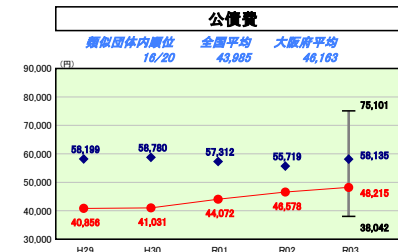
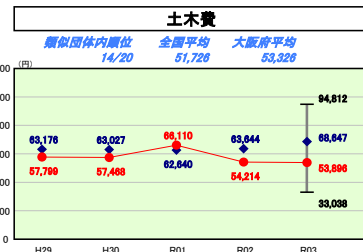
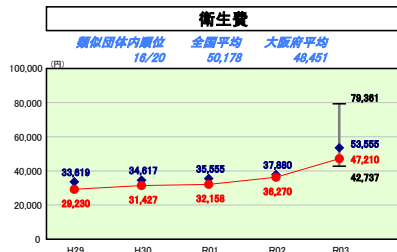
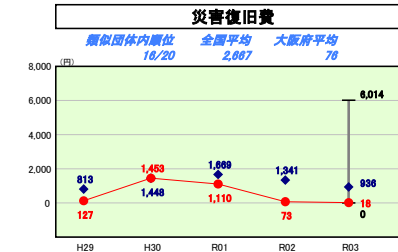
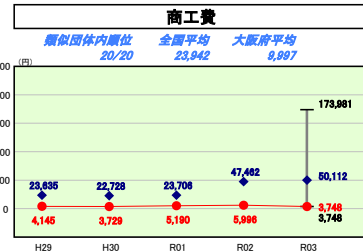
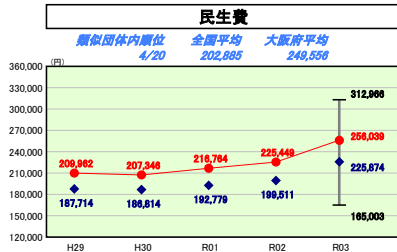
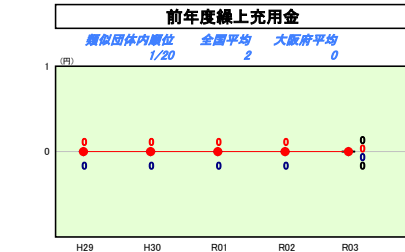
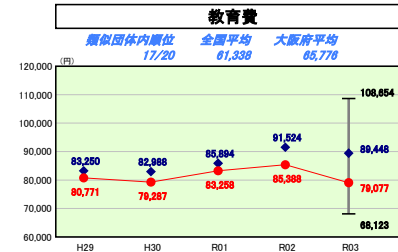
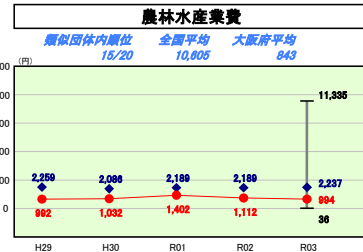
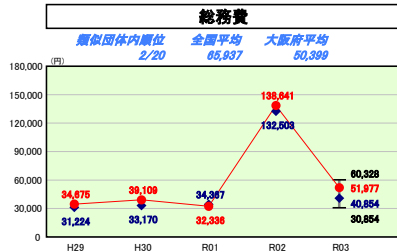
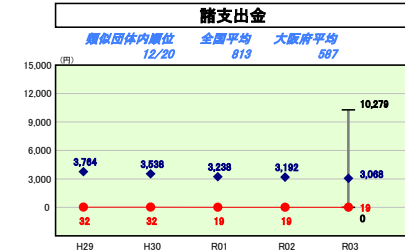
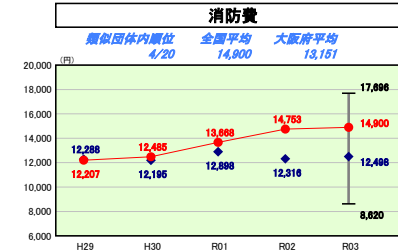
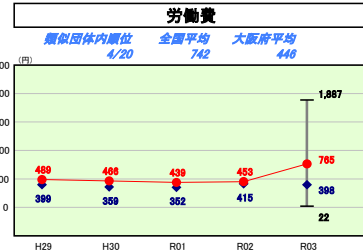
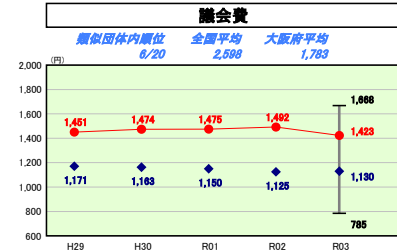
令和3年度

大阪府堺市

人口	826,158人(※4.1.1現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	811,187人(※4.1.1現在)	運給実収赤字比率	-%
面積	149.83km ²	実収公債費比率	6.1%
歳入総額	469,487,091千円	将来負担比率	%
歳出総額	461,227,663千円	市町村類型	H29 政令市 H30 政令市 R01 政令市
実収収支	7,262,180千円	(年度毎)	R02 政令市 R03 政令市
標準財政規模	236,014,076千円		
地方債現在高	481,398,264千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析

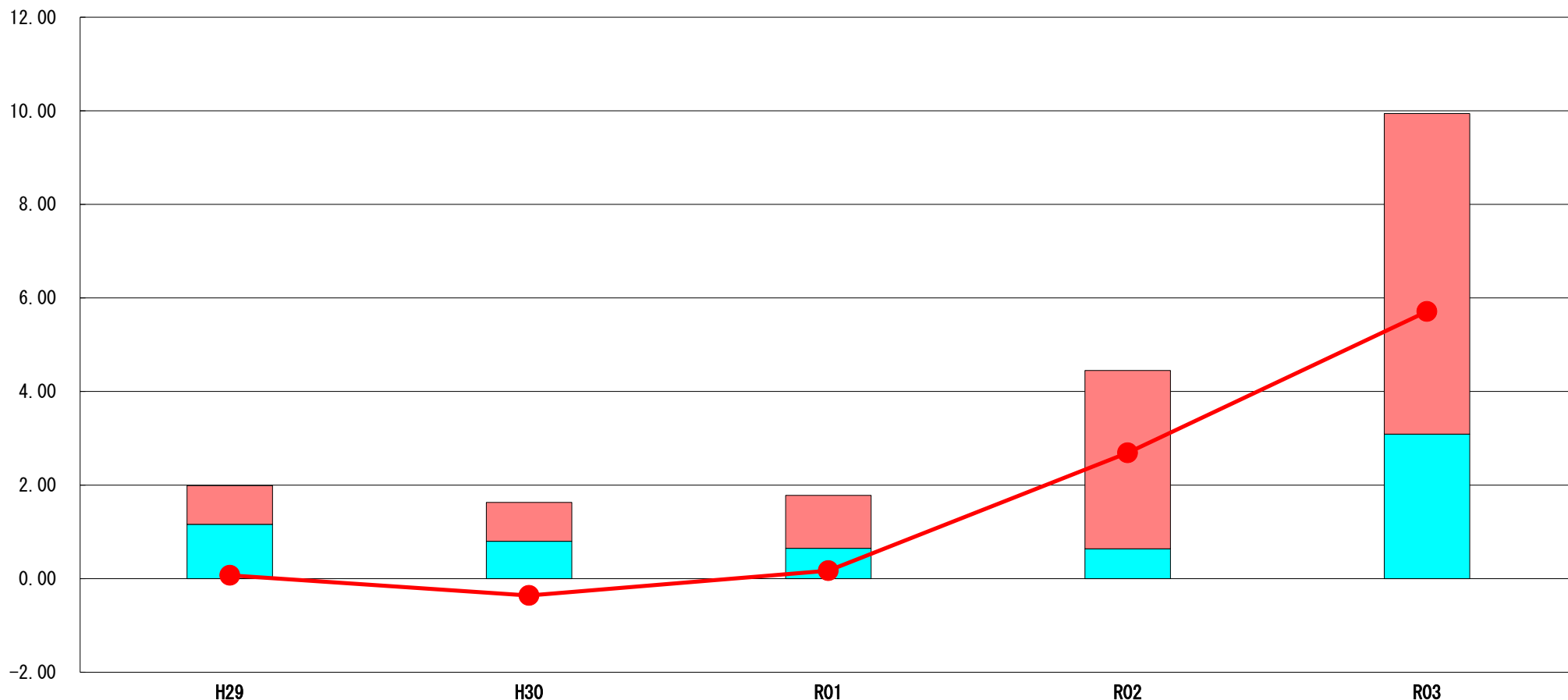
- 総務費は、令和3年度は、特別定額給付金の終了等により大幅に減少した。類似団体と比較して平均程度で推移していたが、財政調整基金積立金の増加により、類似団体の平均を上回った。
- 民生費は、類似団体と比較して高位で推移しており、令和3年度は、子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の支給に加え、障害者自立支援給付費等の増加により、更に増加した。
- 土木費は、令和2年度は、阪神高速道路大和川線事業の本体工事の完了等により大幅に減少し、類似団体の平均を下回った。令和3年度は、堺東駅南地区市街地再開発事業の完了等により減少した。
- 教育費は、類似団体と比較して低位で推移している。令和3年度は、学校教育ICT推進事業(GIGAスクール構想)の進捗などにより、前年度より減少した。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




令和3年度

大阪府堺市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H29	H30	R01	R02	R03
 財政調整基金残高		0.83	0.83	1.13	3.81	6.85
 実質収支額		1.16	0.80	0.65	0.64	3.09
 実質単年度収支		0.07	▲ 0.36	0.17	2.69	5.71

分析欄

標準財政規模に占める財政調整基金残高について、令和3年度においては、令和4年度以降還付が必要である国費・府費の収入超過分や地方交付税等の上振れ分等を積み立てたことにより、一時的に大幅に増加した。

標準財政規模に占める実質収支額及び実質単年度収支について、平成30年度においては、社会保障関係費の増加や大阪北部地震及び平成30年台風21号に対応したことで、実質収支額及び実質単年度収支が減少した。

令和2年度においては、減収補てん債の発行や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業中止・延期等に伴い、予定していた基金取崩しの一部が不要となったことなどから、実質単年度収支が増加した。

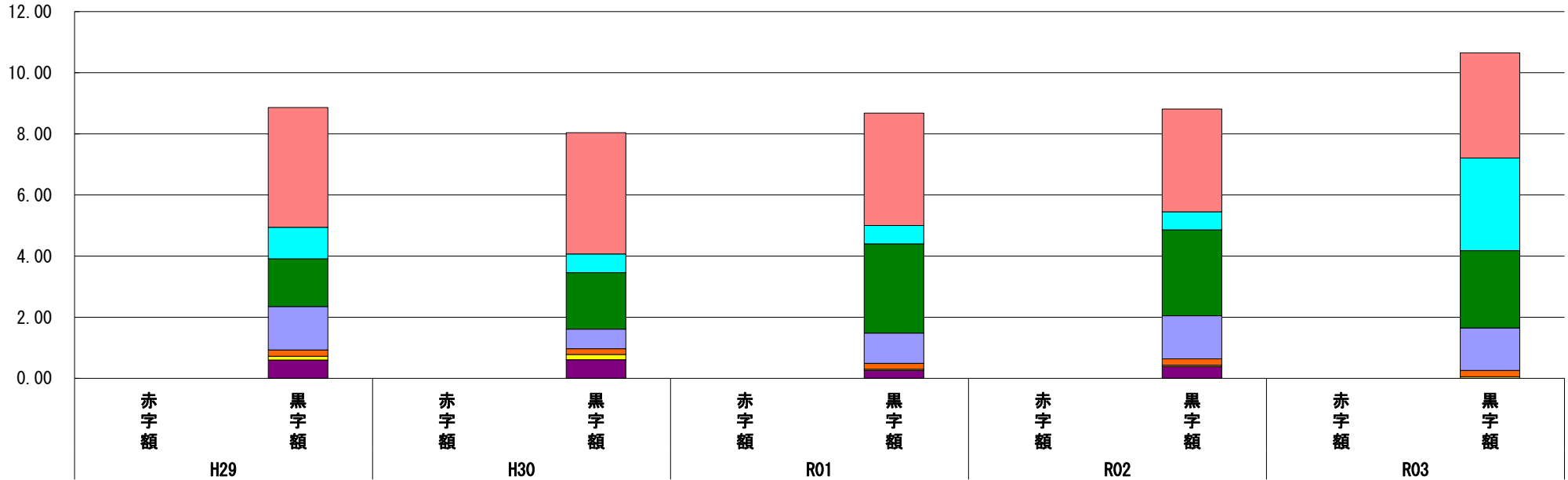
令和3年度においては、市税収入が前年度並みに確保された一方で、地方交付税、臨時財政対策債、地方消費税交付金等の交付金が大幅に増加したこと等により、実質収支額及び実質単年度収支が大幅に増加した。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和3年度

大阪府堺市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H29	H30	R01	R02	R03
堺市水道事業会計		3.92	3.97	3.68	3.36	3.44
一般会計		1.03	0.61	0.60	0.59	3.03
堺市下水道事業会計		1.56	1.85	2.92	2.81	2.53
介護保険事業特別会計		1.42	0.64	0.99	1.41	1.39
後期高齢者医療事業特別会計		0.21	0.19	0.19	0.21	0.21
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計		0.12	0.17	0.04	0.04	0.05
国民健康保険事業特別会計		0.60	0.61	0.26	0.39	0.00
公共用地先行取得事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

引き続き全ての会計で実質収支が収支均衡又は黒字若しくは資金不足が発生していないため、連結実質赤字比率は生じていない。
 一般会計においては、行財政に関する不断の見直しにより、引き続き現在の水準の維持に努める。
 その他会計においても、例えば国民健康保険事業特別会計では、納付勧奨や差し押さえ等、保険料の収納率向上を図ることで、引き続き現在の水準の維持に努める。

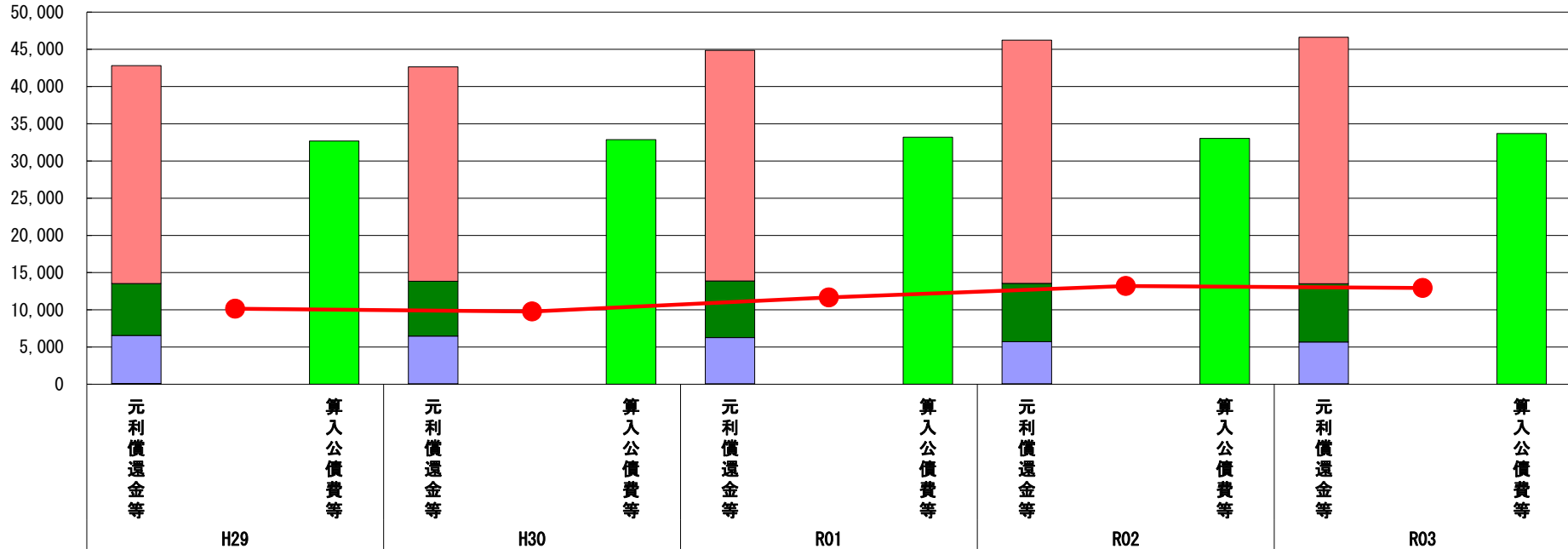
※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

大阪府堺市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度				
		H29	H30	R01	R02	R03
元利償還金等 (A)	元利償還金	29,295	28,810	30,984	32,689	33,116
	減債基金積立不足算定額※2	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	6,964	7,343	7,614	7,820	7,831
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	6,453	6,424	6,206	5,659	5,622
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額	104	62	62	63	63
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等	32,674	32,868	33,205	33,034	33,697
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	10,142	9,771	11,661	13,197	12,935

分析欄

元利償還金は、令和3年度から借入金の返済が開始される大規模事業の影響などにより増加した。一方で、算入公債費等が基準財政需要額の増により増加したため、実質公債費比率の分子は令和2年度から減少した。

※1 令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

(百万円)

※2 減債基金積立状況等		年度				
		H28末	H29末	H30末	R01末	R02末
減債基金残高 (注)		26,880	30,092	33,767	37,279	39,611
減債基金積立相当額		26,707	29,987	33,601	37,182	38,445

分析欄

毎年、満期一括償還地方債を発行していることから、残高が増加している。なお、積立不足は生じていない。

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

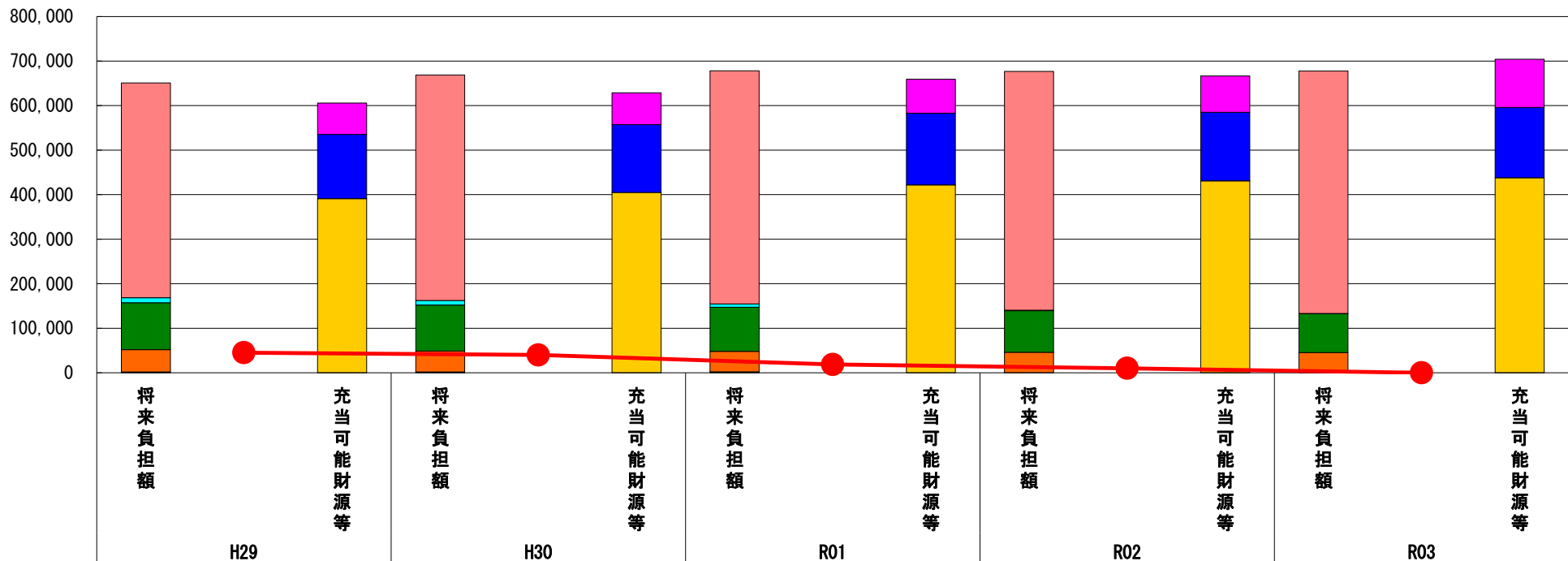
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

大阪府堺市

(百万円)



(百万円)

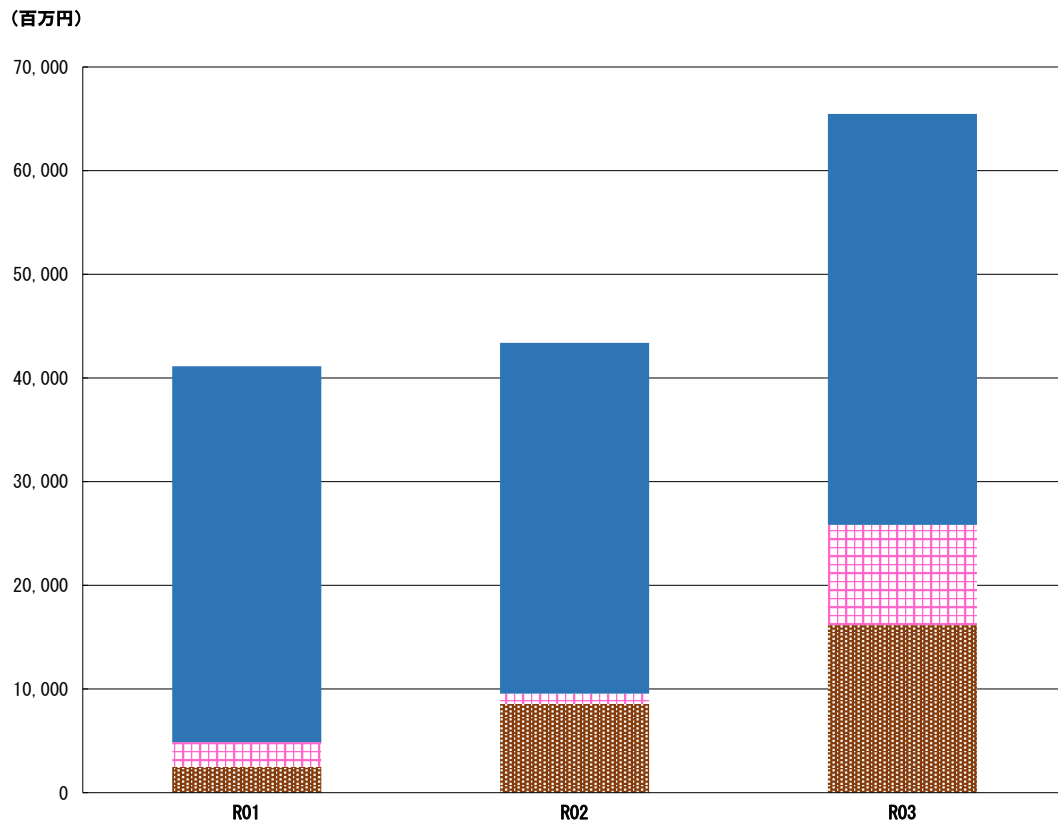
分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		482,143	506,757	523,491	536,222	544,352
	債務負担行為に基づく支出予定額		11,209	10,059	7,473	987	645
	公営企業債等繰入見込額		105,713	103,307	99,006	93,570	87,551
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		49,858	46,731	45,974	45,898	45,178
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,020	2,059	2,133	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		70,554	71,350	76,287	81,399	108,080
	充当可能特定歳入		144,246	152,298	161,221	154,177	158,003
	基準財政需要額算入見込額		391,030	405,207	421,910	430,979	437,980
(A) - (B)	将来負担比率の分子		45,115	40,058	18,659	10,121	▲ 26,336

分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高は、主に臨時財政対策債の増加に伴い、年々増加している。
 債務負担行為に基づく支出予定額は、事業進捗により前年度に比べ減少している。
 公営企業債等繰入見込額は、企業会計の市債残高の減等により令和2年度に比べ減少している。
 退職手当負担見込額は、長期勤続者の減少や退職手当支給率改定等の影響により減少傾向にある。
 充当可能基金は、令和3年度に限り臨時財政対策債償還基金費として追加交付された地方交付税を減債基金に積み立てたこと、市有地売却による財産収入を公共施設等特別整備基金に積み立てたこと等により前年度に比べ増加している。
 これらのことから、将来負担比率は充当可能財源等が将来負担額を上回ったため、算定されなかった。今後も計画的な財政運営を行い、健全性の維持に努める。

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	R01	R02	R03
財政調整基金		2,500	8,564	16,172
減債基金		2,377	990	9,665
その他特定目的基金		36,262	33,842	39,638
公共施設等特別整備基金		18,720	18,862	25,018
泉北丘陵地区整備基金		5,039	5,271	5,125
地域福祉推進基金		2,344	2,345	2,167
産業活性化基金		1,322	1,331	1,345
フェニーチェ堺芸術文化創造基金		1,239	1,246	1,169
基金残高合計		41,138	43,397	65,474

令和3年度

大阪府堺市

基金全体

（増減理由）

- 令和3年度は、以下の要因により基金残高全体が一時的に大幅に増加した。
 - ・ 財政調整基金へ令和4年度以降還付が必要である国費・府費の収入超過分や地方交付税等の上振れ分等を積み立てた。
 - ・ 減債基金へ令和3年度に限り臨時財政対策償還基金費として追加交付された地方交付税を積み立てた。
 - ・ 公共施設等特別整備基金へ市有地売却による財産収入を積み立てた。

（今後の方針）

- 戦略的な活用を行う。
 - ・ 社会・経済情勢の急激な変化等による収支悪化のリスクに備えるため、財政調整基金を積み立てる。
 - ・ 特定目的基金の積み立て原資は、原則寄附金等とし、積極的に活用する。
 - ・ 市有財産等の売却を行った際には、将来の整備や大規模改修等に備えて積み立てる。

財政調整基金

（増減理由）

- 令和3年度は、令和4年度以降還付が必要である国費・府費の収入超過分68.7億円や地方交付税等の上振れ分等を積み立てたことにより、一時的に大幅に増加した。

（今後の方針）

- 社会・経済情勢の急激な変化等による収支悪化のリスクに備えるため、財政調整基金を積み立てる。
- 令和2年2月に策定した「堺財務戦略」において、残高の当面の目標を100億円としている。

減債基金

（増減理由）

- 令和3年度に限り臨時財政対策償還基金費として追加交付された地方交付税を積み立てたことにより、残高が増加した。

（今後の方針）

- 今後の市債償還額を踏まえ、必要な残高を確保する。

その他特定目的基金

（基金の用途）

- 公共施設等特別整備基金
 - ・ 本市の公共公益施設の整備事業等の資金に充てるため
- 泉北丘陵地区整備基金
 - ・ 本市の泉北丘陵新住宅市街地開発事業の施行地区（その周辺地区を含む。）における公共公益施設の整備事業等の資金に充てるため

（増減理由）

- 令和3年度においては、以下の要因によりその他特定目的基金の残高が増加した。
 - ・ 市有地売却による財産収入を公共施設等特別整備基金に積み立てた（+6,156百円）。

（今後の方針）

- 特定目的基金の積み立て原資は、原則寄附金等とし、積極的に活用する。
- 市有財産等の売却を行った際には、将来の整備や大規模改修等に備えて積み立てる。